

PHTMWFF

② 2020年11月上旬

① 平塚市岡崎

③石井律有

トノサマバッタ♂早

① 平塚市岡崎 ② 2020 年 11 月上旬

トノサマバッタ幼虫

②2020年11月上旬

① 平塚市岡崎

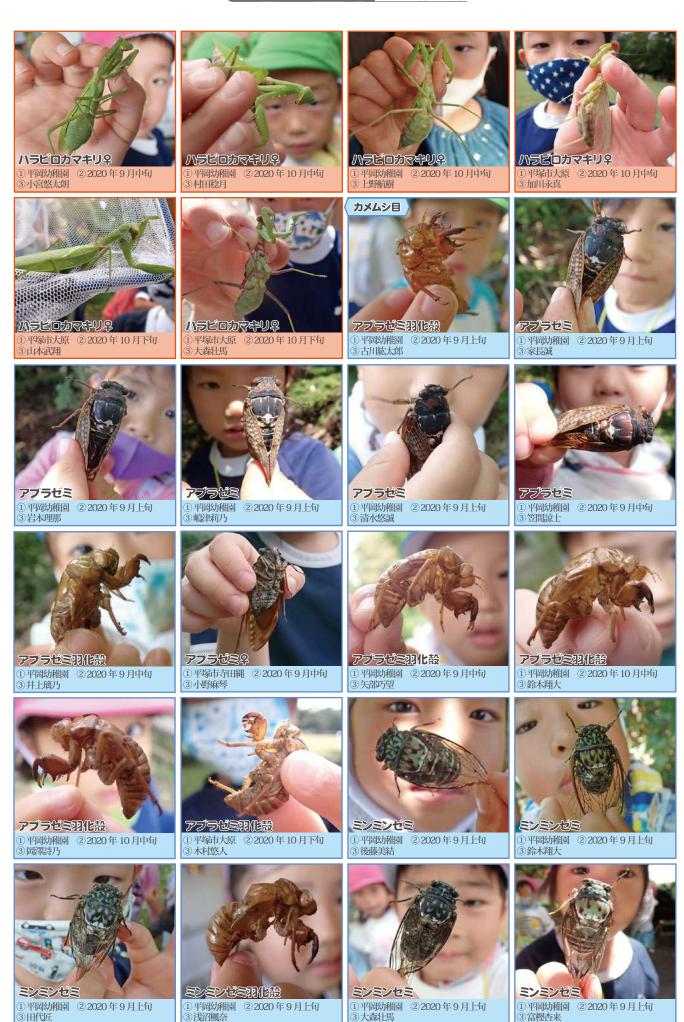
③高村耕太郎

グヴマバッタみ

③新澤夏

① 平塚市岡崎 ② 2020 年 11 月上旬















ニホシアマガエル

③清水悠誠

①平岡幼稚園 ②2020年9月上旬

アスマときが正ル

① 平塚市岡崎

③海老澤顕寿

②2020年9月下旬

①平塚市土屋 ② 2020年 10 月中旬

①平塚市岡崎 ②2020年11月上旬





























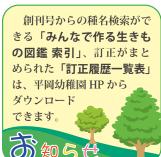














一般の方からの投稿も大歓迎です。種名が分からなくても OK。 写真と「いつ」「どこで」「だれが」を添えて下記アドレスまで お気軽にお送りください。 ikimono@hiraoka-kg.com

※ 見つけた生きものは、可能であればアングルを変えて複数枚撮影してください。種名の判別がしやすくなります。※ 画像はリサイズせずにお送りください。



訂正

「みんなで作る生きもの図 鑑」で使用している分類階級 「綱」についてです。

前号まで多くの箇所で「網」 と表記されておりましたが、 正しくは「綱」です。

お詫びして訂正いたします。

地域の自然を知るう!母うう!なべかり クジョンレポ 2020.9月~11月

新型コロナウイルスの影響により、 残念ながら例年通りの活動ができない状況 ですが、地域の自然のために、各自ができる事を できる範囲で、実践していきたいと思っております。

足元の自然を 楽しもう!

園行事として平塚市総合 公園と鈴川を散策 してきました。

> アキアカネ 捕ま之たよ!

> > 平塚市総合公園





親、仲間と共に地域の自然に親しむことを目的とし、園行事とし て平塚市総合公園 (平塚市大原地区)、鈴川散策 (平塚市岡崎地区) に出掛けてきました。多くの園児親子が、捕虫網や虫カゴを片手に 生きものとのふれあいを楽しんでいました。私たちが住む街の自然 環境のことを知るよい機会になったと思います。

今号の図鑑コーナーにも、これらの成果がたくさん掲載されてい ます(ページの都合上、すべての写真を掲載できませんでしたが、 可能な限り織り込みました)。ぜひご覧ください。





トノサマバッタ とアマガエルを 見つけたよ!



文献紹介

県絶滅と思われていた昆虫 2種の報告が、神奈川虫 報 202 号に掲載され ました。

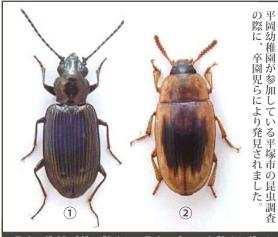
Vol.17「四季のコラム」(2020年春) でご紹介した通り、平塚海岸にて発見さ れた県絶滅と思われていた昆虫2種の報 告が、神奈川虫報202号に掲載されまし たのでご報告します。

県絶滅危惧Ⅱ類のカワグチミズギワゴミムシは、 神奈川県昆虫誌 2018 (平野, 2018) で「絶滅した可能性が 高い」とされていましたが、2018年5月小田原市での再発 見に続く確認例となりました。クロズハマベゴミムシダマシ は県レッドデータブック 2006 の絶滅種で、2015 年鎌倉市 での再発見に続く確認例となりました。

これらの標本は、神奈川県立生命の星・地球博物館に収蔵 される予定です。

[文献情報]

堀田佳之介・堀田來佳・高橋和弘・露木和男 ,2020. 平塚海岸でカワグチ ミズギワゴミムシ ,クロズハマベゴミムシダマシを採集・目撃. 神奈川虫報 , (202): 77-78.



① カワグチミズギワゴミムシ ② クロズハマベゴミムシダマシ

この他に、園児が発見したヨツモンカメノコハムシ(Vol.13 に掲)と、前号で紹介した卒園児発見のシラホシハナムグリ他の報告 も、神奈川虫報で発表されていますので次号にてご紹介します



ようとする意志のようなものを感じるのです。

「つつましさ」を感じる心

文·写真 露木和男

自然を観察していると、「なんだ、これ」と驚くことがよく

1949 年、福岡市生まれ。福岡教育大学卒業後、 小学校教員を経て早稲田大学教育・総合科学学術 院教授に就任。教員を目指す大学生に、理科の 面白さや自然観察の楽しさを伝える。2016 年 秋学期早稲田大学ティーチングアワード総長賞 受賞。2020 年 3 月、定年により退職。 著書に、「小学校理科 授業の思想ー授業者と しての生き方を求めて一」(不味堂出版)、「フィー

露木 和男 先生 Profile

ルドサイエンスのすすめ一自然で学び、科学の 好きな子に育てる一』(早稲田大学出版部)、『「や さしさ」の教育―センス・オブ・ワンダーを子 どもたちに』(東洋館出版社)など多数。 出合うのです。 あります。人智を越えたというか、計り知れない不思議さに

ムラサキツバメというチョウは親のまま集団で越冬します

を感じると共に、対象への「すごいなあ」という「畏敬」に れてくるようです。 の謎に取り組んでいますが、わからないことはどんどん生ま などまだまだわかっていないことは多いのです。 することがこのチョウにとってどういうメリットがあるのか のでしょう。どのような合図があって、それぞれがその場所 近い思いを抱くのです。「知恵」を出し、厳しい冬を乗り越え に集まるのか、その場所がどうしてわかるのか、集団で越冬 てくるのでしょう。おそらく結構広い範囲から集まってくる など、少し大き目の葉に集まっている様子をみるとなんとも 何十頭というムラサキツバメが固まってシュロの葉やアオキ 言えない不思議な気がします。どのくらいの範囲から集まっ アマチュアを含めて多くの研究者が、昆虫の不思議な生態 そんなとき、私など、探究している人間の存在に深い敬意

ることは愛することにつながるからです。 がここに芽生えているのです。それは、対生き物だけの話で じている心があるのだと思います。 た姿の向こうには、きっと対象への「凄さ」「不思議さ」を感 るように、生き物に親しんでいる幼児の皆さんの、喜々とし 人間にとって、きわめて重要な「つつましさ」という感情 『湘南自然誌』の中の「みんなでつくる生きもの図鑑」にあ 人間への敬意として生きてくるのです。知



絵画投稿コーナー





















平岡幼稚園まで 裏に題名・氏名・年齢を書い

表紙絵の選考は未就学児が対象となります。



裏表紙写真:平岡幼稚園からみた月

4 質の高い教育を







SDGsは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発 目標 (Sustainable Development Goals) 」で、17の目標で構成されています。『湘南自然誌』は、そのうち4つの目標への取り組みとして発行しています。

パックテンバー



① デジタル版をダウンロード 平岡幼稚園のHPからPDFがダウンロードできます。

http://hiraoka-kg.com/

② 公共施設で閲覧

以下の公共施設に所蔵されています。

【図書館】 国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図 書館、横浜市立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図 書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図 書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図 書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立 図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市 立中央図書館、※綾瀬市立図書館

※印は一定期間の配架(蔵書登録なし)

【博物館等】県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市 自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大 磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館

【その他】神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学 センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、 秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環 境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののはな館、 箱根町立森のふれあい館、はこね・おだわら昆虫館

③ 平岡幼稚園にて頒布

希望者には無料でひとり1部に限り、園にてお渡ししています。 (※要事前連絡)

ikimono@hiraoka-kg.com

もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで

P25 知育ゲームのこたえ

正解はアブラゼミでした。

私たちには見慣れたセミですが、全世界で3千種とも言われるセミの 中で、翅(はね)が透明でないセミは少なく、さらに茶色のものはわずか 3種。世界的にはとても珍しいタイプのセミなんですよ。



平岡幼稚園の紹介

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園 には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保 存されています。2009年より園地をビオトープ にして、周囲に住む多様な生き物を呼び込み ながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行って います。昭和42年開園、学園地総面積7,501㎡。

【受賞歴】

2012年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2011 [奨励賞]受賞

2014年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2013 「日本生態系協会賞」受賞

関東・水と緑のネットワーク拠点100選に「平岡幼稚園ビオトープ」が選定

2015年 生物多様性日本アワード 最終選考

2016年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015 日本生態系協会賞」受賞

2018年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2017「日本生態系協会賞」受賞

2019年「かながわ地球環境賞」受賞

2020年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2019 日本生態系協会賞 | 受賞

【主な研究・発表実績】

研究テーマ	実施年	発表先
平塚市内のセミのぬけがら調査	2014~18年	平塚市博物館研究報告『自然と文化』(38~42)
神奈川県におけるハルゼミの分布調査	2015~19年	平塚市博物館研究報告『自然と文化』(39~43)
平塚市内のトンボ調査	2015~16年	神奈川自然誌資料 (38):(共著)
その他	随時	神奈川虫報、Cicada、かまくらちょう等

P.23に「みんなで作る生きもの図鑑」 についての訂正記事があります

編集後記

今回の特集でお話を伺った山田陽治されは、 人気テレビ番組に出演されているだけあって、 大変濃いキャラクターの持ち主でした(もちろ れいい意味で)。お話も非常にうまく、インタビューは気付くと3時間のようというという。 格闘家を目指していた過去のことなど、もっと 掘り下げてお聟きしたかったのですが、主催イ ベントに対する思いや入念な下準備のお話だ けでも盛りだくさんで、お話の全ても記事に盛 い込めなかったのが残念です。

インタビューに同席していただいた自然体験 教育研究会幹事の飯塚利一さんにも、山色 さんのイベント活動の写真の提供などでお世話 にないました。 あいがとうごさいました。 最後に、多くの生きものの同定をして下さっ

た岸 一弘氏と、甲殻類の同定に協力して下 さった石原龍雄氏に感謝申し上げます。(富岡)